

東京部議合書の懸念と腸をええていましてと
ころ、ついに刷新遂し却の片辭をかつぐよるな
るとよするしやない、こゝしはらくこんごに
をしておあります。もともと極まぬいこごあし
相午が通流中の神経など持ち合せこいな御仁ば
かりなご、早しくもこつちの神能がマッリと
ひす。お月あからば野言の化事も如まひす
めん此の閉じごあか、一もやリおしたこごすから
つ化物にほこのほるは、長い時問をかけんつかけ
サるうもりごあります。そのうちあひまかり
まのしつら。